**（事業プロモーター等データ）**

※代表事業プロモーター以外の追加、交代の場合は、本様式で申請ください。若手人材育成経費を申請する場合、（計画様式８別紙）も必要となります。

記入要領、記入例は削除して提出ください

※事業育成の実績に関して、担当した投資先や大学等から、活動実績等を裏付ける書類等がある場合は、別途、添付することも可能です。

※「専門分野」は事業プロモーターとして強みを有する分野（例、知財戦略構築）について記載ください。

※卒業年月、企業勤務年月などは事実を省略せずに記載ください。即戦力の事業プロモーターとして活動できる職務経験や実績があれば、是非その内容を強調して記載ください。

※エフォート率とは全仕事時間に対する事業プロモーターとしての活動に必要とする時間の配分割合を意味します。全仕事時間は事業プロモーターとしての活動に係る時間のみならず、所属機関において従来業務に係る時間が含まれます。

（１）事業プロモーター申請者

氏名：

生年月日：　西暦　　年　月　日（　　歳）

所属機関：

役職：

専門分野：

学歴・職務経歴等：

事業プロモーターユニットにおける役割：

事業プロモーター活動のエフォート率： 　％

※無限責任組合員（ＧＰ）として運用した実績を記載ください。

※責任者として運用した実績を、経験者のみ、直近のものから全て記載ください（経験がない場合、本節の小項目を削除の上、「特に無し」と記載ください）。複数の実績がある場合は、全て記載ください。法人としての実績は、（様式８）に記載いただきますので、本項は個人の実績を記載ください。

※補足事項には、ファンド運営の実績に関し補足する必要がある場合や、ファンド運営に関連する活動等があれば記載ください。

（２）ファンドマネジメント実績

ファンド名：

ファンド規模：　　億円

内部収益率（ＩＲＲ）：　％

投資ステージ：

投資件数：　　　件

ＥＸＩＴ件数：　　件（うちＩＰＯ　件、Ｍ＆Ａ　件）

運用時期：　西暦　　年　月～西暦　　年　月

補足事項：

（３）投資先の事業育成に関する実績

※実際に投資先を担当した具体的事例を直近のものから最大３件まで記載ください（経験が無い場合、本節の小項目を削除の上、「特に無し」と記載ください）。

担当した会社名：

投資ステージ：

活動内容及び役割等：

※「活動内容及び役割等」にはハンズオン支援の実施による事業化支援等により、ＩＰＯやＭ＆Ａを実現したなど、事業育成に関する実績があれば記載ください。

※経営陣のリクルートや事業会社との連携、関係する大学等があった場合はその旨を記載ください。

※取締役会等（ボードメンバー等）に入っていた場合や、リードとしてハンズオン支援を実施していた場合は、具体事例について記載ください。

ＥＸＩＴ：

育成担当時期：　西暦　　年　月～西暦　　年　月

補足事項：

※活動実績に関して、補足すべき内容があれば記載ください。

（４）シード段階等における大学等の事業育成に関する実績

※とくに創業前段階や、シード・アーリー段階において、実際に大学等の研究成果をもとにしたベンチャー設立、共同研究などのにより社会還元を行った経験や、企業において新規事業を立ち上げた経験などがあれば、具体例を直近から最大３件まで記載ください（経験が無い場合、本節の小項目を削除し、「特に無し」と記載ください）。

担当した大学等名：

活動内容及び役割等：

※起業前段階の大学等の技術シーズの創業に向けた支援活動や、企業における新規事業の立ち上げにおける主導的役割など、企業前段階からシード・アーリー段階における具体的な活動内容、役割などを記載ください。

成果：

担当時期：　西暦　　年　月～西暦　　年　月

補足事項：

※大学等との活動実績、シード・アーリー段階での事業育成において主導した実績で補足があれば記載ください。

（５）保有するネットワーク等の状況

※即戦力の事業プロモーターとして活動する際、活用できる事業会社、専門人材のネットワークを記載ください（無い場合、記載不要）。

※創出を目指すベンチャー企業のグローバル市場への展開を見据え、新規事業、新規マーケットの開拓、知財戦略などについて重要な貢献を果たすネットワークなどがあれば記載ください（無い場合、「特に無し」と記載ください）。

（６）その他、補足事項等

※投資ファンドの責任者を兼務しており、有限責任組合員（LP）との間で職務専念義務などの制約を負っている場合、本事業に関わることによって生じる可能性のある利益相反の問題について、整理の状況、対応方法などを説明ください。

※公開前特許やノウハウなどの大学等の保有する技術シーズの情報管理について、社内規定、情報管理運用の実績などを整備している場合、その内容を是非記載ください。

※その他、実績・資質等を説明する上で、補足すべき事項がある場合は自由に記載ください。

**（技術シーズ調査レポート）**

※事業プロモーター１人につき１レポートを作成ください。なお、秘密事項の記載は不要です。

記入要領、記入例は削除して提出ください

調査を実施したプロモーター氏名：

調査対象の研究者名、所属：

※個人情報などの都合に応じ、研究者名は匿名でもかまいません。

調査の観点、方法：

調査実施内容：

※例えば、調査にあたっての準備内容、調査時の質問内容、研究室見学における着目事項などを記載ください。

調査結果：

※例えば、ベンチャー創出の観点からの技術シーズの特徴、解決すべき課題、ベンチャー創出にそぐわないと判断した場合は、その理由などを記載ください。

所感：

※調査対象の技術シーズに基づく、ビジネスモデル構築の可能性についての見立てなどを記載ください。見立てが難しい場合には、今後事業プロモーターとして調査すべき内容を記載ください。

※今後の方針なども記載ください。

代表事業プロモーターコメント：

※本調査レポートに関し、代表事業プロモーターからの、評価、コメント、メッセージ等を記載ください。

以上